

花粉の少ない森づくりを応援しよう！

森づくり 支援倶楽部 会報誌

vol. **45**

発行日 令和5年7月31日

contents

- 01 ・ 企業の森
- 02 ・ 普及・PR活動
- 03 ・ 東京マラソンチャリティ
 - ・ 「企業の森」かわら版
 - ・ Youtube 東京森づくりチャンネル
 - ・ 募金の報告
- 04 ・ とうきょう林業サポート隊募集
 - ・ 今年のミス日本みどりの大使は？



「企業の森」



・ 企業の森とは

森林所有者、協賛企業・団体、(公財) 東京都農林水産振興財団の三者が、森林整備に関する10年間の協定を締結。協賛企業・団体には、花粉の少ない森づくり募金への協力と森林整備等相当分の寄付をお願いしています。協定期間中は、社員体験・研修の場として森林を利用することができます。

「企業の森」イベント報告

自主イベント 企業の森・環境ステーションの森(檜原)

5月20日(土)、42名の方が参加して、企業の森の視察が行われました。今年で9年目となるこの森の成育状況を確認するため、若手社員の方は急な坂道を登って見晴らしのよい山頂まで登りました。森の手入れをしている東京チェーンソーズの方から森づくりについても学びました。



自主イベント 日本事務器・あきる野引田 企業の森

5月20日(土)、39名の方が参加して大刈り作業が行われました。東京都森林組合の指導のもと、二人一組となり、一人が雑草のほかツルや低木などを伐り、もう一人は危険がないか周りの様子を確認しながら作業を進め、怪我もなく無事活動を終わりました。



自主イベント 企業の森・公益社団法人青梅法人会(長淵)

6月29日(木)、19名の方が参加して下刈り作業が行われました。森の手入れをしている杣人(そまうど)の連の指導のもと、大きなカマを使ってイロハカエデなどの広葉樹の下草を刈りました。森が明るくきれいになりました。



普及・PR活動

花粉飛散時期PR活動を実施しました

東京都農林水産振興財団では、「花粉の少ない森づくり」の周知とご理解をいただくため、毎年、スギやヒノキの花粉が多く飛散する時期に集中的にPR活動をおこなっています。令和5年1月7日(土)に、高尾599ミュージアムで木工体験を楽しむPRイベントを開催しました。また、3月下旬まで高尾599ミュージアム、檜原森のおもちゃ美術館、山のふるさと村でPRブースを設置したほか、ポスターやデジタルサイネージでの情報発信をおこないました。



高尾599ミュージアムでのイベント開催の様子



檜原森のおもちゃ美術館でのPRブース設置の様子

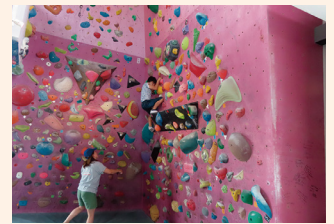
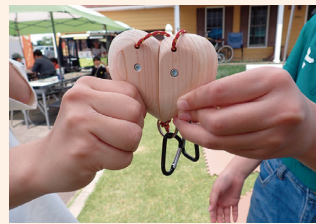
第12回あきしま環境緑花フェスティバルに出展

5月14日(日)、昭島市役所で開催された「第12回あきしま環境緑花フェスティバル」に当財団の「東京緑化推進委員会」と共に出展しました。「花粉の少ない森づくり運動担当」としては、初めての参加となったこのフェスティバル、当日は雨が降ったり止んだりとあいにくの天気でしたが、多くの方に立ち寄っていただきました。ぶんぶんゴマなどの木工体験を楽しんでいただきながら「花粉の少ない森づくり」について知っていただくことができました。木工体験料としていただきましたご寄付は花粉の少ないスギやヒノキの植え替えなどに活用させていただきます。参加された皆さま、ご協力ありがとうございました。



クライミングフロント カランバとコラボイベント

5月27日(土)、瑞穂町にあるクライミングジム「クライミングフロント カランバ」で、異色のコラボイベントを開催しました。事前に予約していただいた66名の方が参加。とうきょうの木・多摩産材ヒノキの端材を使ったクライミングアクセサリー作りを体験していただきました。参加した子どもたちは、まず端材に思い思いのデザインを下書き。スタッフが木工機械を使ってある程度の形に削った後、子どもたちは紙やすりで削ってきれいに仕上げ。最後はヒモを付けて完成となりました。手作りの自分オリジナルのアクセサリーに皆さまとても満足そうでした。その後は、ボルダリングにも挑戦するなど、思う存分に楽しんでいただきました。木工体験料としていただきましたご寄付は花粉の少ないスギやヒノキなどの植え替えなどに活用させていただきます。参加された皆さま、ありがとうございました。



明治大学校友会福生地域支部から、募金(ふっさ環境フェスティバル)の引き渡し式

6月4日(日)、福生市において開催された第21回ふっさ環境フェスティバル。ここに明治大学校友会福生地域支部様が出展しました。展示ブースでは、森林が有する多面的機能を紹介するとともに「花粉の少ない森づくり運動」の募金箱を設置していただきました。そして、6月19日(月)、多くの方からご寄付をいただいた募金の引き渡し式が行われました。ご寄付は、花粉の少ないスギやヒノキの植え替えなどに活用させていただきます。ご寄付をいただいた皆さま並びに募金箱を設置いただいた明治大学校友会福生地域支部の皆さま、ご協力ありがとうございました。



(左) 明治大学校友会福生地域支部 支部長 山田 健一様



ふっさ環境フェスティバルでの募金の様子

「企業の森」かわら版No.8を発行

もっと多くの方に東京の森を理解していただくため、「企業の森」へ参加する企業・団体の取り組みをはじめ、四季折々で咲く花の様子など、日々、「企業の森」を見回って見てきた出来事を記事にしています。

No.8春・夏号では「B29 石碑と山の神」、「春の恵み」、「下刈りってなあに？」などを紹介しています。



No.8春・夏号



かわら版はこちら

YouTube「東京森づくりチャンネル」公開中

花粉の少ない森づくり運動で開設しているYouTube「東京森づくりチャンネル」。ふだん見ることのできない東京の森での植樹や下刈りなどの作業の様子をはじめ林業作業者の仕事ぶりや苦労などをお伝えしています。第10弾は「花粉の少ないスギはどうやって育つの？」を公開。森づくりのはじまりである「育苗」を紹介しています。

チャンネル登録をお願いします！



東京マラソンチャリティの報告

東京マラソン2023チャリティ

東京マラソン2023チャリティの寄付先団体として引き続き活動しました。3月2日(木)~4日(土)の東京マラソンEXPO、3月5日(日)の大会当日と私どもスタッフも会場に駆けつけ、ランナーの皆さまを応援しました。皆さまマラソンを楽しまれましたでしょうか。次回、またお会いできることを楽しみにしております。



(公財)東京都農林水産振興財団は東京レガシーハーフマラソン2023チャリティの寄付先団体です

10月15日(日)に開催の東京レガシーハーフマラソン2023。22の寄付先事業(団体)のひとつとして、「花粉の少ない森づくり運動」へご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。



東京レガシーハーフマラソン2023
チャリティ 公式ウェブサイト

<https://legacyhalf.tokyo/charity/index.html>



■ 寄付総件数: 7名 ■ 寄付金総額: 350,000円

(公財)東京都農林水産振興財団は東京マラソン2024チャリティの寄付先団体です

2024年3月3日(日)に開催の東京マラソン2024の寄付先団体として引き続き活動しています。今回も多くの方からご寄付をいただき誠にありがとうございます。いただきましたご寄付は花粉の少ないスギなどに植え替える森づくりに役立てていきます。



東京マラソン2024チャリティ公式ウェブサイト
<https://www.marathon.tokyo/2024/charity/>

募金の報告

会員の皆様のご協力・ご理解のもと「森づくり支援倶楽部」は、今年で18年目を迎えます。平成18年3月27日の募金開設から令和5年3月31日まで、多くの企業、団体、個人の方から、募金に賛同をいただいております。花粉の少ない森づくりへのご協力ありがとうございます。

団体区分	募金額
個人・企業の直接寄付/募金箱 ※	401,991,952円
東京マラソンチャリティ	114,143,195円
バスマ	38,539,652円
合計	554,674,799円

※「森づくり支援倶楽部」の募金を含む (令和5年3月31日現在)

とうきょう林業サポート隊員 募集中!

とうきょう林業サポート隊は、ボランティアとして、多摩地域の森林で植栽や下刈りなどの森林作業に携わり、森づくりをサポートする活動を行っています。初心者でも安心して参加ができるよう、林業の専門家のもと、安全に気を配り、現場の状況に合わせて作業を進めています。また、森林作業前の安全講習のほか、上級救命講習(年2回)なども開催しています。

詳しくはこちら

<https://ringyou-support.tokyo/>

隊員は随時募集しています!

HPから募集・登録とチラシ&ポスターによるPRも行っています。

撮影モデルには、その年のミス日本みどりの大使にお願いしています。



活動の様子

今年の「ミス日本みどりの大使」は?



2022ミス日本みどりの大使

上村 さや香さん

Kamimura Sayaka

プロフィール:

私の原動力は、がん闘病中の母が、病床で私のギター弾き語り配信ライブを聴いて「生きてて良かった」と言ってくれたことです。イヤホンをして寝たままでも目をつぶっていても私の声が耳を通して届くことの嬉しさを感じました。私は中学から10年間ギター弾き語りや作詞作曲、現在はSNSを中心に約4万人の方にフォローして頂いています。これらの経験を活かし、将来はラジオDJやシンガーソングライターとして居心地の良い空間が作れる人になりたいです。

ミス日本みどりの大使とは?

ミス日本協会主催によるミス日本コンテストにおいて、木や森への親しみを広げる役割を担います。未来に繋がる豊かな緑を守り育ててきた取り組みや、生活に根ざした日本の木の文化を尊び、みどりや木とのふれあいや活用を通じて、みどりと木への親しみを広める活動を行っています。

「ミス日本みどりの大使」のポスター撮影を取材



5月某日、日の出町にある東京都農林総合研究センターの日の出試験林にて、とうきょう林業サポート隊のポスター撮影が行われました。5月とは思えない暑さの中、カメラマンから出される指示にも、笑顔で応え、現場を和ませながら撮影は順調にすみました。



ミス日本みどりの大使にインタビュー

ミス日本みどりの大使に選ばれた時の感想は?

願っていたら良いことがあるんだって思いました。私、中学生の頃からギターの弾き語りをやっていて、高校生の時に、このように木がいっぱい生えている場所でライブをさせていただいたことがあるんですけど、その時の経験が忘れられなくて…。いろんな賞の中で、自分が一番力が出せそうだったのが「ミス日本みどりの大使」だったので、選ばれたいとずっと願っていました。でも、コンテスト当日は、ウォーキング審査でヒールが脱げちゃったり、全然ダメだったんです。ですけど、結果発表で見事選んでいただき、その時は本当に嬉しくて、頑張ろうと思いました。

西多摩へ来た感想は?

東京都民として、東京にもこんなに自然があるということを広めたいと思いました。森の中だと深呼吸しているだけでも気持ちいいんですけど、やっぱり一番はギターを弾いて、歌を歌っている時なんです。これから、いろんな森の中でライブができたらいいなと思っています。

ミス日本みどりの大使の活動を通じて伝えたいことは?

国産木材での楽器作りを応援していきたいです。私の得意な弾き語りに欠かせないのはギターも、もちろん木で出来ています。国産の木を、

伐って、使って、植えて、育てるというサイクルの大切さを、歌に乗せて届けたいです。そのために、林業に関わるみなさまへの尊敬と感謝を込めて「森で愛(あい)ましよう」というオリジナル曲を作りました。音楽を通じて、小さな子どもにも森林循環の大切さをわかりやすく伝えていけたらと思っています。



花粉の少ない 森づくり運動



育てます豊かな食とみどりの東京
公益財団法人 **東京都農林水産振興財団**
Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries

森づくり支援倶楽部事務局

〒198-0036 東京都青梅市河辺町6-4-1 青梅合同庁舎3階

TEL : 0428-20-8153

Email : moridukuri@tdfaff.com

HP : <https://moridukuri.tokyo/>



(公財)東京都農林水産振興財団は、
SGEC森林管理認証による環境に配慮した
森林管理を実施しています。

月1回、花粉の少ない森づくりに関する
メールマガジン(無料)を配信中です。
是非、右のQRコードから登録を!

